



Red Hat OpenShift から 開発者が得られる 5 つの メリット

目次



1 はじめに

2 信頼性と一貫性を備えた包括的なアプリケーション・プラットフォームでイノベーションを実現

- メリット 1: アプリケーション開発を高速化し、生産性を向上
- メリット 2: 新しいアーキテクチャで従来のアプリケーションをモダナイズ
- メリット 3: AI ソリューションをより短時間で開発、デプロイ
- メリット 4: プロダクションへのプロセスを迅速化
- メリット 5: 信頼できるソフトウェア・サプライチェーンを使用してアプリケーションを構築

3 今すぐ始める



はじめに

業界を問わず、開発者は革新的なアプリケーションによって最も困難なビジネス課題のいくつかを解決しています。

開発チームは、ユーザーフレンドリーな機能やインタフェースを通じて、顧客エンゲージメントの向上、収益の創出、変化する市場での競争力維持に役立つ独自のソフトウェア・ソリューションを提供します。開発者は、人工知能 (AI)、機械学習 (ML)、IoT (モノのインターネット) デバイスなどの先進テクノロジーをアプリケーションやサービスに組み込み、進化する消費者要求に短時間で対応するソリューションを作成します。組織が新しく革新的なデジタルサービスを提供し続ける中、成長とビジネスの持続的な成功を促進する上で開発者の重要性がますます高まっています。

それでも、インフラストラクチャの管理とデプロイのワークフローが非効率であると、開発プロセスに時間がかかり、最新のツールやテクノロジーの導入が難しくなることがあります。テクノロジースタックが組み込まれたアプリケーション・プラットフォームには、ハイブリッドクラウド環境における開発を単純化する機能や能力のほか、より大規模なテクノロジーエコシステムとの統合が含まれます。クラウドサービスまたはセルフマネージド・インストールとして提供されるアプリケーション・プラットフォームによって、高度なアーキテクチャとテクノロジーを使用してアプリケーションを構築し、モダナイズすることができます。

Red Hat は、オープンスタンダードに基づいて、従来のアプリケーションとクラウドネイティブなアプリケーションの両方を迅速に開発および提供できるようにするオープン・ハイブリッドクラウド・アプリケーション・プラットフォームを提供します。**Red Hat® OpenShift®** は、今日の AI 対応アプリケーションを含め、アプリケーションを大規模に開発、モダナイズ、デプロイするための、信頼性と一貫性を備えた包括的なプラットフォームです。各種ツールおよびサービスの包括的なセットにより、開発からデリバリー、アプリケーション・ワークロードの管理に至るまで、アプリケーションライフサイクル全体を効率化します。任意のインフラストラクチャでのアプリケーションの市場投入に必要なサービス一式を備えており、開発者はより迅速なイノベーションを実現できます。

この e ブックでは、**開発者にとっての Red Hat OpenShift** の 5 つの主なメリットについて説明します。



信頼性と一貫性を備えた包括的なアプリケーション・プラットフォームでイノベーションを実現

信頼性の高い **Red Hat Enterprise Linux®** を基盤として構築されている **Red Hat OpenShift** は、オンサイト・インフラストラクチャ、パブリッククラウドリソース、エッジデバイスを含むハイブリッドクラウド環境における先進的なアプリケーション開発を効率化する、セキュリティ重視の統合プラットフォームを提供します。Red Hat OpenShift は、退屈で時間のかかる多くのタスクを自動化するツールとサービスを備えているため、アプリケーションのモダナイズとデプロイを単純化し、チーム全体の生産性と運用効率の向上を支援します。さらに、**Red Hat Application Foundations** ポートフォリオおよび**広範なパートナーエコシステム**と統合されており、任意のテクノロジーを使用して、均一で一貫した開発エクスペリエンスを通じてさまざまなアプリケーションを構築、モダナイズ、提供できます。また、Red Hat OpenShift はセルフマネージド製品として、あるいは Amazon Web Services (AWS)、Microsoft Azure、Google Cloud、IBM Cloud のクラウドサービスとして利用できます。

✔ 信頼性

Red Hat OpenShift は、さまざまな環境での長年にわたるエンジニアリングとサポートに基づいた、信頼できる Kubernetes バージョンを提供します。セキュアバイデフォルト設定により、Kubernetes 関連の脆弱性を軽減できます。また、**Red Hat Advanced Cluster Security for Kubernetes** と統合されており、アプリケーションの開発およびデプロイのすべての段階にセキュリティを組み込むことができます。Red Hat は、Red Hat OpenShift で実行できるコンテナイメージを構築するための信頼できるコンテンツも提供しています。また、Red Hat OpenShift 向けの広範なソフトウェア・パートナー・エコシステムを通じて、事前検証済みの機能やサービスをプラットフォームに追加することもできます。

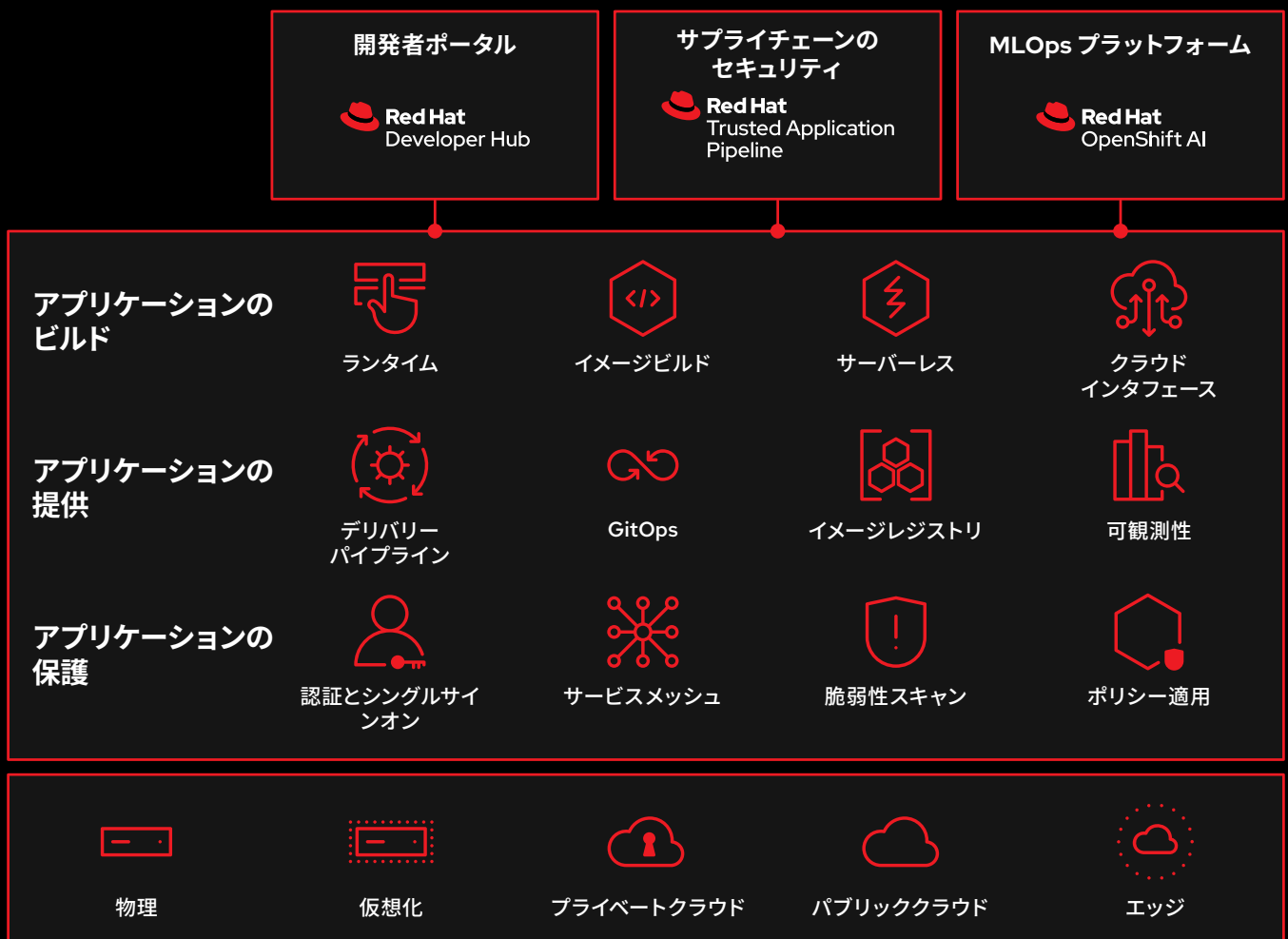
✔ 包括的

Red Hat OpenShift は、さまざまな環境においてセキュリティ重視のスケラブルな開発を効率化する包括的なアプリケーション・プラットフォームです。広範なツールとサービスを通じて、モダナイズとデプロイの課題に対処し、開発者の生産性と運用効率を向上できるよう支援します。

✓ 一貫性

Red Hat OpenShift は、好みのツールを自由に使ってアプリケーションを迅速に構築およびデプロイできる、均一で一貫した開発者エクスペリエンスを実現します。Red Hat OpenShift 上で開発することで、ワークフローを一度構築して自動化すれば、オンサイト・インフラストラクチャ、パブリッククラウド、エッジロケーション、ハイブリッド環境をはじめとするあらゆる環境でアプリケーションを実行できるようになります。

業界をリードするハイブリッドクラウド・アプリケーション・プラットフォームである Red Hat OpenShift は、開発者に対し、セキュリティに重点を置いたアプリケーションの構築と提供に必要な**ツール、パイプライン、フレームワーク、サービス**を提供します。



ここからは、開発者にとっての Red Hat OpenShift の 5 つの主なメリットについて説明します。

1 アプリケーション開発を高速化し、生産性を向上

多くの組織にとって、革新的な新しいアプリケーション機能と重要なアップデートを迅速に提供することが、顧客満足度を高め、競争上の優位性を獲得するための鍵となります。インフラストラクチャのセットアップとアプリケーションのデプロイにかかる時間を最小限に抑え、ツールやハイブリッドクラウド・リソースにすぐにアクセスできるようにすることで、アプリケーションライフサイクルの単純化と高速化を実現し、変化するユーザーの要求に遅滞なく対応できます。

Red Hat OpenShift には、マイクロサービス、**サーバーレス**、イベント駆動型などの先進的なアーキテクチャを使用して、革新的でスケーラブルなクラウドネイティブ・アプリケーションをより短時間で、インフラストラクチャのオーバーヘッドを抑えて開発できるようにする包括的なツールおよび機能一式が含まれています。

Red Hat OpenShift Dev Spaces

Red Hat OpenShift 用のクラウド開発環境 (CDE) サービスである **Red Hat OpenShift Dev Spaces** は、セキュリティ重視のゼロ構成環境とセルフサービス・プロビジョニング機能を通じて、一貫性のある開発プラクティスを促進します。OpenShift Dev Spaces は一般的な統合開発環境 (IDE) とコマンドライン・インタフェース (CLI) をサポートしており、先進的なアプリケーションを開発する上で使いやすく、利便性と信頼性を備えた基盤になります。開発者システム間の一貫性をもたらし、互換性の問題を軽減するコンテナ型開発環境を定義するためのオープンスタンダードである **Devfile** を使用して、コードとして定義されるカスタマイズ可能な開発者ワークスペースを提供します。

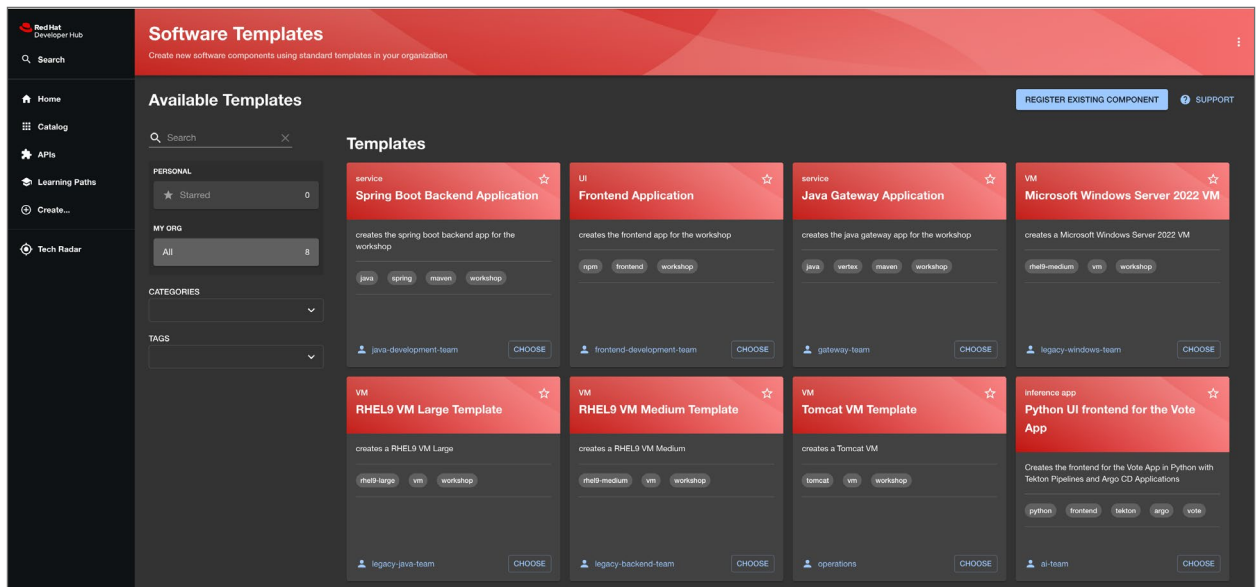
Podman Desktop

Podman Desktop は、ローカル環境におけるコンテナと Kubernetes の管理を可能にする無料のグラフィカル・インタフェースであり、これによって柔軟性が向上し、開発が加速します。ローカル環境での AI による構築を実現する主要なオープンソース・テクノロジーを提供する Red Hat 拡張機能の **Podman AI Lab** を使用することで AI 開発が単純化されます。

Red Hat Developer Hub

Red Hat Developer Hub は、プロセスを効率化するエンタープライズ対応の社内開発者ポータルであり、革新的なソリューションの開発に集中できます。テンプレートは、コードスケルトンの読み込み、変数の挿入、GitHub や GitLab などのリポジトリへの公開機能を備えており、Web サイトやアプリケーション

などの新しいソフトウェア開発を迅速化します。事前に設計済みでサポートされているアプローチによって基盤となるテクノロジーの詳細が抽象化されるため、アプリケーションの重要な機能に集中できます。Tekton、ArgoCD、Keycloak などの一般的なテクノロジー向けに厳選された認定プラグインは、Red Hat Developer Hub と直接統合され、組織全体でのツールの構成とメンテナンスを単純化します。



Red Hat OpenShift Operator

Red Hat OpenShift Operator を使用すると、データベースや可観測性ツールを含む Red Hat Ecosystem Catalog から認定済みのサードパーティ・テクノロジーを Red Hat OpenShift コンソールに直接追加して管理できます。

Red Hat Application Foundations

Red Hat OpenShift で、Red Hat Application Foundations に直接アクセスできます。これはアプリケーション・ランタイムとフレームワーク、アプリケーション・プログラミング・インタフェース (API) 管理、データストリーミング、およびイベント駆動型サービス一式を統合したものです。これらのツールやサービスを使用すると、単一の包括的なプラットフォーム上でさまざまな種類のアプリケーションを開発しデプロイすることができます。Application Foundations には、Red Hat OpenShift に組み込むことができる Quarkus などの一般的な開発言語とフレームワークも含まれています。

2 新しいアーキテクチャで従来のアプリケーションをモダナイズ

アプリケーションのモダナイゼーションのプロジェクトは、多くの組織に効率、アジリティ、競争力の向上をもたらします。従来のモノリシックなアプリケーション・アーキテクチャから、よりモジュール化されたスケーラブルなクラウドネイティブ・ソリューションに移行することで、運用を最適化し、ユーザーエクスペリエンスを向上させることができます。しかし、こうしたプロジェクトでは、既存のシステムが複雑であること、ツールがすべて揃っていないこと、包括的なトレーニングが必要であることなど、開発上の課題もしばしば生じます。

Red Hat は、モダナイゼーション・ジャーニーを計画して従来のアプリケーション、仮想化されたアプリケーション、クラウドネイティブ・アプリケーションを Red Hat OpenShift に移行するのに役立つツールをいくつか提供しています。

- ▶ **アプリケーション移行ツールキット (MTA)** は、長年の経験に基づいて開発された、アプリケーションのモダナイゼーションと移行の大規模プロジェクトをサポートする一連のツールです。高度なアプリケーション評価、ソースコード分析、プロジェクト管理をすべて一元的な管理インターフェースを通じて行うことで、取り組みの単純化と迅速化を実現できます。アプリケーション・ポートフォリオを柔軟かつ包括的に表示して、現在の状態を評価できます。アプリケーション・アーキタイプを使用して、定義した基準に基づいてアプリケーションを自動的にグループ化し、影響の大きいモダナイゼーションの機会を見つけ、スケーラブルな計画を構築できます。一括評価および自動分析機能により、高レベルと低レベルの両方の知見が得られ、モダナイゼーション戦略をカスタマイズできます。
- ▶ **コンテナ移行ツールキット (MTC)** は、ステートレス・アプリケーションとステートフル・アプリケーションをさまざまな Kubernetes プラットフォームから Red Hat OpenShift 4 のクラスタに移行するのに役立ちます。Kubernetes カスタムリソースに基づく包括的な Web コンソールと API を使用して、同じ Red Hat OpenShift クラスタ内またはクラスタ間でアプリケーションを移行し、ダウンタイムを最小限に抑えます。
- ▶ **仮想化移行ツールキット (MTV)** を使用すると、**仮想マシン**を VMware vSphere から Red Hat OpenShift Virtualization に移行でき、コンテナワークロードと並行して仮想マシンワークロードを実行および管理できるようになります。
- ▶ **Red Hat OpenShift Virtualization** を使用すると、仮想マシンとコンテナの両方を単一のプラットフォーム上にデプロイして管理できるため、既存の仮想化投資を最大限に活用できます。**継続的インテグレーション/継続的デプロイメント (CI/CD)** ワークフローや **GitOps** ワークフローなどの新しいテクノロジーとアプローチを従来のワークロードに拡張する、統一された推奨ツール一式を使用することで、アプリケーション全体の一貫性を向上できます。

OpenShift Virtualization を導入すべき 15 の理由

クラウドネイティブなアーキテクチャ、最適化された運用、新しい開発アプローチを活用しながら、既存の仮想化投資を最大限に活用する方法をご覧ください。

[こちらの e ブックを読む](#)か、[OpenShift Virtualization 開発者リソース](#)をご確認ください。

- ▶ **Red Hat Developer Hub** により、効率化された開発プロセスを使用して複雑さを軽減しながら、**仮想マシンを構築**することができます。これらの仮想マシンは OpenShift Virtualization に移行できるため、1つのプラットフォームに複数のアプリケーション・アーキテクチャをデプロイできます。
- ▶ **Red Hat OpenShift Serverless** により、スケーラブルでイベント駆動型のクラウドネイティブなサーバーレス・アプリケーションを Red Hat OpenShift 上で作成することが可能になります。サーバーレスワークロードの構築、デプロイ、管理のプロセスが単純化されるため、インフラストラクチャ管理のオーバーヘッドを生じさせることなくコードの作成に集中できます。OpenShift Serverless はサーバーレス関数、ゼロへの自動スケーリング、段階的なロールアウト、イベント統合などの機能を備えており、先進的なクラウドネイティブ・アプリケーションにとって用途の広い選択肢となります。
- ▶ **Red Hat OpenShift Service Mesh** は、オンサイト・データセンターからパブリッククラウドやエッジインストールに至るまで、マイクロサービスベースのアプリケーションを一貫して接続、管理、監視することができます。トラフィックフローとサービス間の依存関係を可視化し、ハイブリッドクラウド環境における問題を特定します。
- ▶ **エッジでの Red Hat OpenShift** により、データセンターからクラウド、エッジロケーションに至るまで、同じアプリケーション・プラットフォームを使用できるようになります。データが収集される場所の近くにデプロイすることで、効率を向上させながらレイテンシーと帯域幅を削減できます。エッジコンピューティングは、規制要件を継続的に満たしながら、より迅速な知見の獲得、リモート・アプリケーションや接続されていない場所のサポートに役立ちます。現場でのデータと分析を使用して意思決定を迅速化します。レイテンシーの影響を受けやすいアプリケーションを遠隔地のユーザーにも提供できます。接続に制限がある環境でも重要な業務の継続性を確保できます。また、機密データを現場で処理および管理して、データ主権の要件へのコンプライアンスを維持できます。

ヒント: ハンズオン
ラボで OpenShift Serverless の使用方法を学びましょう。

3

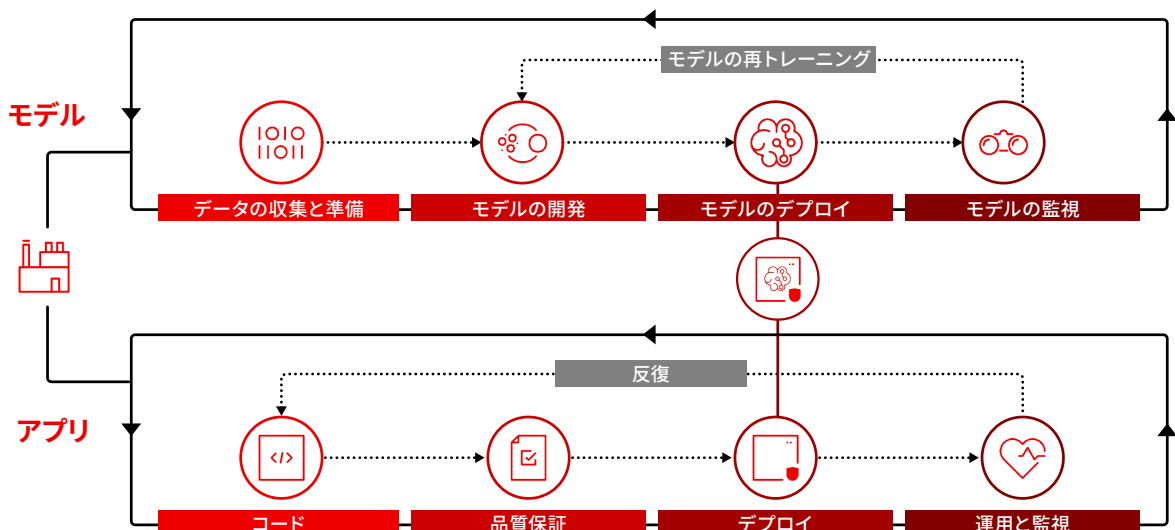
AI ソリューションをより短時間で開発、デプロイ

AI/ML テクノロジーは、開発チームが急速に変化する市場で革新的なアプリケーションを作成するのに役立ちます。オープンソース・プロジェクトと商用ソリューションに基づく適切なツールセットを使用すれば、インテリジェント・アプリケーションの開発が単純化され、AI ソリューションをより短時間で提供できるようになります。また、新しいツールやテクノロジーを常に把握しておくことで、最新の機能、最適化技術、アルゴリズムを活用した、より効果的なソリューションを作成できます。

Red Hat OpenShift AI は Red Hat OpenShift を基盤として構築されており、AI 実験の実行、高度なモデルの提供、インテリジェント・アプリケーションの提供をより短時間で行うためのエンタープライズ対応アプリケーション・プラットフォームになります。データサイエンティスト、エンジニア、開発者は、オンサイトおよびパブリッククラウド・インフラストラクチャにわたってワークロードとパフォーマンスの要求を満たす、統一されたスケーラブルなセキュリティ重視のプラットフォームで共同作業を行うことができます。テスト済みのサポートされているツールによって信頼性を高め、インフラストラクチャ管理を単純化し、ハイブリッドクラウド環境全体にアプリケーションをデプロイできます。

OpenShift AI は、DevOps プラクティスを拡張して機械学習運用 (MLOps) を組み込むことで、AI モデルおよびアプリケーションの構築とトレーニングからデプロイと監視に至るまで、AI/ML ライフサイクル全体をサポートします。モデルをトレーニングするためのデータサイエンス・パイプラインと、モデルをデプロイしてアプリケーションに接続するための GitOps パイプラインを組み合わせることができます。運用を拡張して、基盤モデルや生成 AI モデルなどのコンピューティング集約型ワークロードをサポートできます。

OpenShift AI には、データサイエンティストが予測 AI モデルを構築するための AI/ML ライブラリとフレームワーク、ML パイプライン、複数の IDE のサポートなど、中核的な一連の開発機能が含まれています。また、**InstructLab**、分散トレーニング機能、ハードウェア・アクセラレーションのサポートも含まれており、ユースケースに応じて**大規模言語モデル (LLM)** をファインチューニングしたり拡張したりすることができます。



4 プロダクションへのプロセスを迅速化

迅速かつ効率的なアプリケーションの開発とデプロイは、進化するユーザーの要求と業界のトレンドに対応する革新的なソリューションを提供するための鍵となります。プロセスを自動化することで、新機能やアップデートをより短時間で導入し、市場投入時間を大幅に短縮できるようになります。デプロイが効率化されると、反復の効率性も向上し、リアルタイムのフィードバックに基づいてアプリケーションを改良することができます。動的で自動化されたアプリケーション・ワークフローは、開発チームおよび IT 運用チーム内や両チーム間のコラボレーションを強化します。

Red Hat OpenShift には、一貫性を備え、セキュリティを重視し、アプリケーション提供を迅速化するソフトウェア開発プロセスの定義と実装に役立つ、開発者ツールとワークフローが組み込まれています。たとえば、アプリケーションを構築するためのプラグイン、拡張機能、ソフトウェア開発キット (SDK) を利用することができます。CI/CD パイプラインと GitOps ツールは、自動化されたワークフローを用いたコードのビルド、テスト、デプロイを可能にします。モニタリングサービスやロギングサービスを使用して、アプリケーションのパフォーマンスを追跡し、問題を特定することができます。また、コンテナレジストリによって、コンテナイメージを効率的に保存および管理できます。

- ▶ **Red Hat OpenShift ビルド** では、単一の Kubernetes API を使用してソースコードとバイナリーをコンテナイメージにアSEMBルしながら、イメージのビルドに通常必要とされる、基盤となるツールと詳細を抽象化することができます。
- ▶ **Red Hat OpenShift Pipelines** では、好みのソースコードリポジトリを組み込んだ、セキュリティ重視の高度な CI/CD ワークフローを作成できます。これらのワークフローは各ステップを個別のコンテナで実行することにより、需要に合わせて自動的にスケーリングできます。
- ▶ **Red Hat OpenShift GitOps** では、git リポジトリをパイプラインに統合できるため、宣言型コードを使用してインフラストラクチャとワークロードの構成を定義し、効率的で信頼性の高いアプリケーション提供を実現できます。また、信頼できる唯一の情報源を使用して、クラスター間で大規模にアプリケーションを構築しデプロイする、反復可能な継続的デリバリーのプロセスを作成するのにも役立ちます。
- ▶ **Red Hat OpenShift Web コンソール** によって、アプリケーションを 1 か所から管理できます。既存のコードベース、イメージ、Dockerfile をインポートして、Red Hat OpenShift 上でアプリケーションを直接構築し、デプロイできます。プロセッサ、メモリー、ストレージの消費量を分析して、アプリケーションのパフォーマンスを把握できます。また、アプリケーションのステータス、ログ、イベントにアクセスして、アプリケーションの状態を確認し、問題のトラブルシューティングを行うことができます。

5 信頼できるソフトウェア・サプライチェーンを使用してアプリケーションを構築

ハイブリッドクラウド環境でアプリケーションを保護しながら、ユーザーの要求やビジネス要件を満たすデジタルサービスを迅速に提供することは、開発チームにとって困難な場合があります。多くの組織において、データプライバシーを確保し、アクセスを制御し、コンプライアンス要件を満たすセキュリティ機能の統合は、現代のソフトウェア開発における重要な要素となっています。包括的なセキュリティ戦略を導入し、高度なテクノロジーを採用し、進化するコンプライアンス標準を遵守することで、アプリケーションの整合性を高め、ユーザーやステークホルダーの信頼を築くことができます。

Red Hat OpenShift は、アプリケーションライフサイクル全体を通じて継続的なコンプライアンスチェックとセキュリティチェックを使用し、アプリケーションスタック全体の保護に対する先進的でスケーラブルなアプローチをもたらします。オペレーティングシステムの基盤である Red Hat Enterprise Linux には、ワークロードを分離して保護するための Linux 名前空間、**Security-Enhanced Linux (SELinux)**、CGroups、Secure Computing Mode (seccomp) などのセキュリティ機能が含まれています。**コンテナレジストリ**が統合されているため、脆弱性のスキャンと、信頼できる ID を提示するためのアプリケーションの署名の暗号化が可能です。強力な暗号化制御により、機密性の高いアプリケーションデータを保護できます。また、認証、認可、シークレット管理などのセキュアな運用機能により、ユーザーとアプリケーション間の信頼が確保されます。

Red Hat OpenShift は **Red Hat Trusted Software Supply Chain** と統合されており、最初からソフトウェアファクトリーのコンポーネント、プロセス、プラクティスにセキュリティを組み込むことができます。ソフトウェア開発ワークフローにおいて自動化されたセキュリティガードレールを使用することで、複数の環境間でアプリケーションのコーディング、構築、デプロイ、監視を一貫して行うことができます。Trusted Software Supply Chain には複数の製品が組み込まれており、各製品は Red Hat OpenShift と連携し、ソフトウェア開発ライフサイクル全体を通じてセキュリティを強化するのに役立ちます。

Red Hat Trusted Profile Analyzer

Red Hat Trusted Profile Analyzer は、ソフトウェア・コンポーネントをスキャンおよび分析して依存関係をマッピングし、コードベースにセキュリティ脅威が見つかった場合はその影響範囲を評価します。この記録システムでソフトウェア部品表 (SBOM) と脆弱性悪用可能性交換 (VEX) を生成し、管理できます。Trusted Profile Analyzer によって、ローカル開発環境でもアプリケーションのセキュリティチェックを実行できます。セキュリティドキュメントの保存、インデックス付け、クエリを実行して、IDE から直接推奨事項にアクセスできます。また、コーディング中に依存関係の分析を実行し、脆弱性を特定して修復できるため、セキュリティの脆弱性を含むアプリケーションのデプロイを回避できます。

Red Hat Trusted Artifact Signer

オープンソースの Sigstore プロジェクトに基づいて構築された Red Hat Trusted Artifact Signer は、ソフトウェア・アーティファクトの暗号署名と検証を単純化します。イミュータブルな台帳に記録され、監査可能な透明性ログを取得できるので、コードが改ざんされていないことを確認できます。また、それによりソフトウェア・サプライチェーン全体におけるアーティファクトの信頼性が高まります。Trusted Artifact Signer は、短期間のキーレス署名とキーベースの署名をサポートするほか、Operator のインストールを単純化します。Enterprise Contract も含まれているため、スケーラブルかつ宣言的な方法で、ポリシーに基づいてサプライチェーンの整合性を自動的に検証し、出所を認証し、SLSA (Supply-chain Levels for Software Artifacts) レベルを適用することができます。

Red Hat Trusted Application Pipeline

Red Hat Trusted Application Pipeline は、Red Hat Developer Hub、Trusted Profile Analyzer、Trusted Artifact Signer を統合してビルドパイプラインをカスタマイズおよび自動化し、詳細な出所を含む署名済み証明書に準拠できるよう支援します。また、コードとしてのパイプラインを宣言的な状態にデプロイし、不審なビルドが本番環境に持ち込まれないようブロックするリリースポリシーを設定できます。Trusted Application Pipeline は、セキュリティチェックが自動化されているソフトウェア・テンプレートと、環境全体にコンテナイメージをデプロイするためのセキュリティ重視のリリースワークフローを提供します。コンテナイメージの SBOM を自動的に生成し、SLSA 基準に準拠した出所と証明書を提供します。これらのテンプレートは、ソフトウェア開発ライフサイクル全体でのセキュリティ対策導入の標準化と迅速化に役立ち、最初から信頼性と透明性を向上させます。

The screenshot displays the Red Hat Developer Hub interface for a component named 'my-secure-app'. The main view shows the CI pipeline runs. A table lists the pipeline runs with columns for NAME, VULNERABILITIES, STATUS, TASK STATUS, STARTED, DURATION, and ACTIONS. The first run is successful, with a duration of 5 minutes. Below the table, a pipeline graph shows the sequence of tasks: 'git-clone', 'verify-commit', 'package', 'scan-source', 'build-sign-image', 'acs-deploy-check', 'acs-image-check', and 'acs-image-scan'. The 'verify-commit' task is highlighted, showing its details: 'verify-commit' with a duration of 3s and a status of 'Succeeded'.

Trusted Application Pipeline はモジュール設計なので、現在のニーズに応じてコンポーネントの一部または全部を使用することが可能です。また、他のアーティファクト・リポジトリやセキュリティシステムを使用するようにパイプラインを構成し、それらを Red Hat OpenShift などのアプリケーション・プラットフォームの上に重ねて、ソフトウェア開発ライフサイクル全体にセキュリティを統合することもできます。

Red Hat Advanced Cluster Security for Kubernetes

Red Hat Advanced Cluster Security for Kubernetes は、業界標準のデプロイメントおよびランタイムポリシーに照らして環境を継続的にスキャンし、悪意のあるアプリケーションや構成ミスから環境を保護します。DevOps やセキュリティのツールおよびワークフローと統合し、脅威の軽減とセキュリティポリシーの適用を支援する、コンテキストが豊富な役立つガイドラインを提供します。ポリシーエンジンには、CIS (Center for Internet Security) ベンチマークや米国標準技術研究所 (NIST) のガイドラインなどの業界標準に基づいた、DevOps とセキュリティに重点を置いたベストプラクティスを施行するためのコントロールが組み込まれています。また、詳細なアクセス制御によって Red Hat Quay レジストリに保存されているイメージのインデックス付けと分析を自動的に実施し、脆弱性データベースに対する最新の共通脆弱性識別子 (CVE) に関するリアルタイムレポートを得ることもできます。

セキュリティを統合して、コードからプロダクションまでを数分で

Trusted Software Supply Chain によって、セキュリティ重視のアプリケーション開発をどのように迅速化できるのか、ご覧ください。

- ▶ [こちらの e ブックを読むか、Trusted Software Supply Chain の詳細をご覧ください。](#)
- ▶ Red Hat OpenShift と、アプリケーションを大規模に構築、モダナイズ、デプロイするための主要なテクノロジーを組み合わせた、**Red Hat OpenShift Platform Plus** について詳しくご覧ください。



01101
10011

今すぐ始める

Red Hat OpenShift によって、インフラストラクチャ全体でセキュリティを確保しながら、大規模かつ迅速にアプリケーションを構築、デプロイ、実行、管理することができます。Red Hat では、お客様が労力と時間を節約しつつ開発を始められるよう支援するために、開発者サンドボックス、トライアルプログラム、サポートサービス、トレーニングコースを提供しています。

Red Hat Developer を通じて技術ツールと専門知識にアクセス

無料で Red Hat Developer プログラムに参加し、技術ツールや専門知識によるメリットを享受しましょう。製品トライアル、学習リソース、イベント、開発者サンドボックスにもアクセスできます。

開発者サンドボックスを使ってみる

Red Hat がホストと管理を担う、開発およびテスト向けに事前に構成された最小限の OpenShift 環境に 30 日間、無料で即時にアクセスできます。

Red Hat Developer Hub で成功する方法を学ぶ

e ブック「[開発者ポータル: Red Hat Developer Hub を活用するための準備](#)」を読んで、開発者ポータルについての理解を深め、開発者ポータルを活用してアプリケーションを構築する方法を学びましょう。